

視察（研修）報告書

令和 6 年 3 月 5 日

府中市議会議長 様
創生会会長 様

会派名又は 創生会
議 員 名 真田 光夫

日 時	令和6年2月14日（水） から 令和6年2月16日（金）
研 修 先	全国市町村国際文化研修所（JIAM）
研 修 コ ー ス	令和5年度
研 修 タ イ ト ル	図書館とまちづくり
参 加 者	真田 光夫 参加人数：47名
研 修 内 容	目的： 公共施設としての図書館の機能と役割について、近年そのあり方が見直されつつあります。公共施設の集約化、複合化が進められる中、まちの賑わいや再生を目指す地域活性化の核として図書館が注目されており、各自治体で様々な取組が進められています。 この研修では、地域で必要とされる図書館とはどのようなものか、サービスの拡充はもとより、まちづくりの主体となる人々が集う交流拠点として、どのような役割を果たすことができるのか、その可能性について考えます。
研 修 内 容	タイトル：まちづくりと図書館の接点 慶應義塾大学 名誉教授 糸賀雅児氏 1. 図書館の役割と接点拡大 図書館はかつての「読書の場」から「地域の情報拠点」へ進化し、まちづくりとの接点を広げています。国の交付金制度を活用し、ソーシャル・インクルージョンやSDGsなどの視点を取り入れながら、図書館とまちづくりの接点を多様化しています。 2. 図書館の集客力と事例紹介 図書館は生涯学習施設として高い認知度と集客力を持ち、地域の中心市街地を活性化する成功事例が紹介されています。各地の図書館が創意工夫を凝らした取り組みを通じて、地域の魅力と賑わいを創出しています。 3. まちづくりと図書館の接点の拡大と背景 国土交通省の交付金制度やまちづくり三法などにより、まちづくりと図書館の接点が拡大しています。地域の再生や賑わいづくりに向けた取り組みが行われ、図書館が地域の拠点として重要な役割を果たしています。

所 感	図書館が単なる本の貸し借り場所を超えて、まちづくりの一翼を担う重要な拠点として位置づけられていることを示唆しています。国の交付金制度を活用し、地域社会と連携しながら、図書館が集客装置としての役割を果たす一方で、地域住民の暮らしに寄り添い、学びや居場所づくりにも貢献している点が注目されます。 まちづくりと図書館の相互関係が強調され、地域社会における知的拠点としての図書館の存在感が確認されることを学びました。
研 修 内 容	タイトル：わたしたちの図書館をつくる 県立長野図書館 館長 平賀研也氏 1. 意思形成の問題 図書館や地域の進め方において、どこに意思があり、どのように形成されるかが問われています。これは、図書館経営や地域経営における重要な課題です。 2. 地域社会との連携 瀬戸内市図書館の取組みを通じて、図書館が地域社会における課題への対応や学習プログラムの提供を行うことが示されています。地域との連携を強化し、地域のニーズに応えることが重要です。 3. 図書館の社会的使命と市民の期待 図書館は市民の知る権利や学習する権利を保障し、市民の自治や文化に関わる活動の拠点となるべきだとの指針が提示されています。市民の期待に応えるために、図書館は社会的な使命を果たす必要があります。
所 感	図書館経営と地域経営において、市民との協働が重要であることを強調しています。図書館が地域社会の課題に対応し、市民の「知る権利」や「学習する権利」を保障し、自治や文化に関わる活動の拠点となるべきであるという理念が示されています。 特に、「図書館友の会」や市民との連携によって、市民のアイデアが取り入れられ、図書館づくりに市民が参加する姿勢が肯定されています。このアプローチは、図書館が地域社会に深く根ざし、市民と共に発展していくための良い手本となっており、本市も参考にしていきたいと感じました。
研 修 内 容	タイトル：市民と共につくる図書館～瀬戸内市図書館の取組み～ 京都橘大学 文学部 嶋田 学氏 1. 図書館再発見 永源寺町の図書館を通じて、図書館が地域社会における学習や文化の拠点として機能しています。図書館は地域の課題に対処し、学びの場を提供する重要な役割を果たしています。 2. 市民との協働 図書館友の会「もみわフレンズ」を通じて、市民と図書館が協働しています。市民のアイデアやニーズを活用し、図書館のサービスや施設の改善に貢献しています。 3. 図書館づくりの共同アプローチ 図書館づくりには市民の参画が欠かせません。市民の幸福や自己実現から出発し、サービスデザインを行うことで、図書館が地域のニーズに適切に対応できます。

所	感	図書館と市民の協働に焦点を当て、具体的な事例を通じてその重要性を示しています。市民と図書館が連携し、地域の課題に対応するために取り組んでいるプロジェクトや図書館友の会の活動が、図書館づくりに市民の意見やアイデアを反映させている様子が鮮明に描かれています。 また、自治の理念である「住民自治」を実現するために協働が不可欠であり、市民が主体的に学び、参画することが自治体の課題解決につながるという視点も示唆に富んでいます。 図書館が地域社会と共に発展し、市民が自治体の活動に参加することが、健全なまちづくりにつながるという一例を知ることができました。
研 修 内 容		タイトル：図書館におけるリビングラボ等「共創」の取組みポイントについて デザイナー・キュレータ、アカデミック・リソース・ガイド株式会社 李 明喜氏 https://arg-corp.jp/ 1. デザインの実績 空間デザインやプロジェクトデザインの分野で活躍する李明喜氏は、須賀川市民交流センターや県立長野図書館などのプロジェクトに関与しています。 2. 知る自由の重要性 図書館は「知る自由」を重視し、知識の獲得を相互作用のプロセスと捉えています。多様な他者や外の世界が存在することが、「知る自由」を支え、豊かな環境を生み出すとされています。 3. 共創の事例 福島県須賀川市の TETTE や小千谷市のホントカは、図書館やまちづくりの取り組みとして共創とコミュニティの形成を重視しています。これらの取り組みは、情報収集や地域づくり、学びの環境づくりなどで活発に活動しています。
所	感	知る自由や相互依存の重要性を図書館が提唱し、それを実践する様々な取り組みが行われています。図書館は単なる知識の提供者ではなく、コミュニティの形成や共創の場としても機能しています。これらの取り組みは、地域の活性化や文化の発展に貢献しており、図書館の役割がますます多様化していることを示しています。
		タイトル：わたしたちの図書館をつくる まちライブラリー提唱者 磯井純充氏 一般社団法人 まちライブラリー代表理事 https://machi-library.org 1. まちづくりとひとづくり 森ビルの森泰吉郎氏は、「ひとづくり」がまちづくりの根本にあり、人々の協力と共感が重要だと強調しています。 2. つむぎやの活動 つむぎやの友廣裕一氏は、80 の限界集落を訪れて地域の実態を知る努力をしています。地域への深い理解がまちづくりにおいて重要であることを示唆しています。 3. 問題の捉え方とまちライブラリーの提案 早稲田大学の友成真一氏は、問題は単純ではなく、マクロからミクロへと捉える必要があると述べています。まちライブラリーは、ソーシャルマーケティング

		グ型のイベントを提案し、利用者がイベントを企画し、コミュニティを形成するアプローチを強調しています。
所	感	まちづくりは単なる物理的な整備だけでなく、人々の協力と共感が不可欠です。地域の実態を知る努力や問題を多面的に捉える視点は、持続可能なまちづくりにとって重要です。成功する傾向や失敗しやすい傾向も考慮しつつ、地域のニーズに合ったアプローチを取る必要があると学びました。